



80. Love

TOKYO FM

PRESS RELEASE

2009年8月8日

報道各位

TOKYO FM「SCHOOL OF LOCK!」と Sony Music が 5500 分の1の頂点を決定！

10代限定の夏フェス『閃光ライオット』

第2回は栃木県代表「SHIT HAPPENING」が優勝！賞金100万円獲得！

“未来のカギを握るラジオの中の学校”がコンセプトの番組「SCHOOL OF LOCK!」(毎週月～木曜22:00～23:55、金曜22:00～22:55、23:30～23:55 / TOKYO FMほかJFN系38局ネット)と、“未来のカギを探す”「Sony Music」(株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント 本社:東京都千代田区、代表取締役 北川直樹)とのコラボレーションにより、昨年からはまった、10代限定の“LOCK”フェス『閃光ライオット』が今年、新たにKDDI(KDDI株式会社 本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼会長 小野寺正)がパートナーとして参画し、8月8日(土)に東京ビッグサイト西棟屋上特設ステージにて開催され、栃木県から出場の「SHIT HAPPENING」が優勝、賞金100万円を獲得いたしました。

全国5500通の応募を勝ち抜いた、ファイナリスト14組のライブと最終審査が、11時半～18時に渡り野外フェス形式で行われ、会場には全国から駆けつけた1万人を超えるリスナーらが朝早くから会場入りし、声援を送りました。

また、準優勝は福岡県から出場の「CHEESE CAKE」、審査員特別賞は、神奈川県から出場の「関取 花」、東京都から出場の「The SALOVERS」、応援ガールの夏未エレナさんのエレナ賞には、熊本県から出場の「挫・人間」が選ばれました。

開催概要

会場：東京ビッグサイト西棟屋上特設ステージ

日時：8月8日(日) 11:00～19:00

出演：三次審査通過の全14組(タイムテーブル参照)

司会進行：やましげ校長・やしろ教頭(「SCHOOL OF LOCK!」パーソナリティ)

応援ガール：夏未エレナ ゲスト審査員：BEAT CRUSADERS、Base Ball Bear

ライブゲスト：BEAT CRUSADERS、flumpool、Galileo Galilei(前年度優勝者)

★ この模様は、8月10・11・12日のTOKYO FM「SCHOOL OF LOCK!」(22:00～23:55JFN系全国38局)と、9月22日19:00～20:30音楽チャンネル「MUSIC ON! TV」特番『ROAD TO 閃光ライオット 2009 Special』にてオンエアされます。さらに雑誌『PATi PATi』(9月9日発売・10月号)、『WHAT'S IN』(9月14日発売・10月号)でも特集紹介されます。

審査結果

● 優勝(賞金100万円)

「SHIT HAPPENING」

小野崎建太(19)Vo/Gt、岩瀬晃二郎(19)Gt、五月女聡(19)Ba、梅田貴之(19)Dr

演奏楽曲：「Second Life」「Alone」「ZOO」

※地元・宇都宮と都内を中心に活動するメロディックパンクバンド。『音楽は魂である!』という言葉どおり、観客の心をつかむロックを演奏。観客からも圧倒的な支持を得ての優勝となりました。

受賞コメント「最高です。優勝もうれしいが、こんな最高の舞台でもう一度、優勝凱旋ライブをできることが最高にうれしい。嬉しいというのはこのことを言うのだろう」

- 準優勝(ZOOM HD16CD)

「CHEESE CAKE」

岩淵紗貴(ポチ)(18)Vo/Gt、一瀬貴之(イチー)(18)Gt、田村三果(アネキ)(19)Ba/Cho、金山尚右(ゴン)(18)Dr

演奏楽曲「強がり虫」「君とSOS」「寝癖」

※2006年にメンバー全員何も知らない素人の状態から結成。優勝した「SHIT HAPPENING」と並び、グッズ販売コーナーは長蛇の列になるなど、会場に駆けつけたリスナーの人気は絶大だったが惜しくも準優勝となりました。

- 審査員特別賞(ハンディレコーディング機材)

「関取 花」

関取 花(18)Vo/Gt

演奏楽曲「alone」「これが今の私」「花」

※神奈川県出身の関取 花。「何よりも歌うことが好き」という彼女の声が審査員から高い評価を受けた。

「The SALOVERS」

フル(17)Vo/Gt、フジイ(17)Gt、コバヤシ(17)Ba、ユウタ(17)Dr

※東京都出身の4人組バンド。

- 夏未エレナ賞

応援ガールを務めた夏未エレナさんが「独断と偏見」で選んだ夏未エレナ賞。

「挫・人間」

下川諒(17)Vo/Gt、田上将之(17)Gt、吉武樹生(19)Ba、吉田拓磨(17)Dr

※2007年夏結成。同年冬よりライブハウスでの活動を開始。2009年12月のライブをもってライブ活動を一旦中止することを決め、そのけじめとして出場した。

審査員アーティストによる総評コメント

BEAT CRUSADERS

「等身大の世界観があった。それがお客さんとの一体感を生み出したと思う」

「ハイスタとエルレガーデンを同時に聴けるうらやましい世代。彼らはこれに加えて新しい何かを取り入れていくだろう。将来が楽しみなバンドだと思う」

Base Ball Bear

「若くてはじけている。熱気もすごかった。勢いもあり、パワーもあり、(優勝は)なるほどなと思った」

■「SCHOOL OF LOCK!」とは…

“全国の青き若者たちの未来のカギ(LOCK)を握るもうひとつの学校！”をコンセプトに、パーソナリティのやましげ校長とやしろ教頭ほか、人気アーティスト、女性タレントたちをレギュラー講師陣に迎えお送りしている、中学生・高校生を主なターゲットとした番組。BBSへのカキコミ、メール、携帯コンテンツなど、番組とネットを連動した様々な企画を実施することにより、ネット世代である若者から高い支持を得ており、番組サイト(PC+携帯)へのアクセスは、多い時では5,500万ページビューにも達しています。

■「閃光ライオット」とは…

—デビューしたいとか、賞金が欲しいとか、夢みたいな望みは、いろいろある。

でも、本音は、“ただ、なんかして一な”って。“今”を刻みたい。ただ、それだけ。—

「SCHOOL OF LOCK！」が、Sony Musicとともに今年初めて立ち上げた、【10代のための夏フェス】プロジェクト。8月8日のフェス当日への参加を目指して、一次審査であるデモテープ審査には、**全国から約5500通もの応募が殺到**。さらに、二次審査であるスタジオ審査参加者の動画を番組HPで配信、三次審査であるライブ審査出場者の音源を「着うた®」配信し、**約22万ダウンロードを記録**。

参加者たちのハイレベルな楽曲・パフォーマンスが番組内でのオンエアでも話題を呼び、各地のライブ審査会場にも多くのリスナーが観覧に詰め掛けました。8月8日当日は、**ファイナリスト14組のライブ披露と最終審査が野外フェスとして行われる、まさに“音楽の甲子園”**となります。

■フェス出場者のこれまでの選考過程

①応募資格

13歳から19歳(1989年4月2日～1996年4月1日生まれ)の方。

②募集方法(デモテープ募集)

【1】一般コース(2009年1月30日締め切り)

【2】受験生コース(応募メンバー内に中学3年生・高校3年生・浪人生あり。2009年4月10日締め切り)

→ **合計5500通**(一般コース3000通、受験生コース2500通)応募

③選考過程

1次審査【デモテープ審査】 → **合計680組**(一般コース400組、受験生コース280組)が通過

2次審査【スタジオ審査】3～5月、選考スタッフにより全国8ヶ所で開催 → **合計65組**が通過

3次審査【ライブ審査】5月23日～6月13日、全国5会場で開催(一般観覧無料) → **計14組**が通過

8月8日: 野外フェス「閃光ライオット」開催 ファイナリストが激突!

★ 本件に関する詳細: <http://www.tfm.co.jp/lock/riot/> <http://www.sonymusic.co.jp/sd/senko/>

*「着うたフル(R)」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。